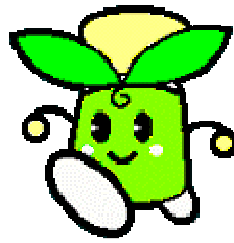


# 菫 桜 (わかざくら)

～南中校長室より～

平成 29 年度 NO.8

平成 29 年 11 月 1 日



*Be Proud Of Us*

11月になりました。本日の音楽会で大きな行事もひと段落つきました。3年生はいよいよ進路決定の時期が近づいています。目標に向かって最後の一日まで最大限の努力を惜しまず、悔いのない締めくくりとしてください。1・2年生は、この時期、充実した2年生、3年生の生活を送るためにしっかりと根を張る季節です。大リーガーのイチロー選手（何回もこの通信に登場してもらっています）の言葉に「ちっちゃなことを積み重ねることがとんでもないことに達するただ一つの道」というのがあります。「毎日少しずつ、それがなかなかできないんだなあ」と言っています。そして、「当たり前を積み重ねると特別になる」と言っています。一日一日こつこつと休まず努力することが大切であり、けっこうむずかしいことなのです。誰も見ていなくても、自分は見ています。自分に嘘をつかない、自分に恥ずかしくない生活、自分を見る目をつむらないような生活をしてもらいたいものです。大人と子どもの違いとは、自分のその時だけの気持ちで動くのではなく、いろいろな状況の中で自分の行動を決められるかどうかだと思います。子どもが大人へと成長するにつれて、自分の気持ちのもちようとか、心のありようとは別に、今やるべきこと、今やってはいけないことが分かってくるのだと思います。「やりたけれど、してはいけないことだから絶対にやらない」「やりたくないけれど、やらなければならないから一生懸命やる」。こうした気持ちの葛藤が子どもを大人として、立派な社会人として、すばらしい人間として成長させていくのだと思います。

## 体育大会(10月7日)

7日6時半頃に学校に到着。前日からの雨で、グラウンドにはあちらこちらに水溜り。ただ、グラウンドを歩いてみると、そんなにぬかるんでいるという感じではありませんでした。教頭先生と体育主任で相談。天気予報では回復に向かうとのことで、水取りをみんなでやれば何とかできるであろうと判断しました。この日を楽しみに祖父母が遠方から来ているという話しを、仕事を持っておられる保護者は平日には見に来ることができないなどの話を聞くと、何とか開催して多くの保護者や地域の方々に参観いただきたいという思いから決断しました。係りの仕事で来てくれた生徒と教師で7時頃から水取りの作業に入りました。そして8時にはほぼ水溜りがなくなった・・・と思いきやの「雨」。また、グラウンドが6時半頃のように戻ってしまいました。ここで、心が「中止」の方に動きましたが、子どもたちは授業の用意を持ってきていないし、雲の動きをスマホでみると・・・一人ではできないけれど諦めず、みんなで力を合わせば・・・相手は「天気」・・・自分たちの手で、力で作り上げた体育大会にという思いで9時頃から生徒全員、教師で水取り作業。うれしいことに、PTAの役員さんをはじめ保護者の方々、そして地域の人・・・なんと写真屋さんまでが作業に参加。10時30分には何とか開会に持ちこむことができました。13時頃に少し強めの雨がりましたが、競技に支障なく全ての予定を終えることができました。その後の片付け。椅子の脚拭き、ブルーシートの洗い等、いつもの倍の時間がかかりましたが、生徒たちは一生懸命にやってくれました。まさに We are the best team. 生涯思い出に残る体育大会となりました。生徒、先生方、PTA 役員さん、保護者、地域の方々、皆さんに感謝、感謝です。

今後も Be Proud Of Us を合言葉に生徒とともに「自信と誇りの持てる学校」を目指して力

を注いでいきます。

## <一緒に伸ばそう！ 子どもの学力>

全国学力・学習状況調査の結果から・・・子どもの学力を伸ばすには・・・  
家庭学習

いろいろな本を読みましょう。

いろいろな本や文章を読むことは、知識を広げ、考え方を深めます。

学習したことを復習しましょう。

「計算練習」「漢字練習」など、基礎的・基本的な学習を繰り返し行くと効果的です。

また、学んだことをその日のうちに振り返ると定着します。(裏面参照)。声かけや励ましがやる気につながります。

文章を書く機会を増やしましょう。

改まった表現や漢字を適切に使って手紙を書くことや日記を書くことも有効です。

また、新聞のコラムの書き写しを習慣化するのも学力アップにつながります。

## 生活

同じ時刻に起きて、生活のリズムを作りましょう。

一日の生活リズムを作ることが大切です。

朝食を取り、一日の元気なスタートを切りましょう。

朝食は、やる気・集中力・体力にとって大切です。

ゲーム機や携帯電話などの使い方のルールを決めましょう。

すでに配布済み(南中携帯ルール10か条)を徹底させましょう。

新聞やテレビなどのニュースをもとに会話をしましょう。

地域や社会で起こっている出来事に関心を持つことは大切です。

\*上記の事は学力と相関関係があると専門家によって分析されています。

## 女の子と母親

突然だけど、母親のこと子供にどう話してる？俺の娘は今年4歳になるが、嫁は娘を生んですぐに家を飛び出したので、子供には母親の記憶はない。今まで母親のことはあまり話題にせず避けてきたんだが、こないだちょっと考えさせられる出来事があった。

仕事の移動中に乗った電車の中でのこと。俺の隣には、幼稚園くらいの女の子が、母親らしい若い女性と一緒に乗っていた。途中、駅で片腕のない女性が乗ってきて、俺達の向かい側に座った。女の子が「お母さん、なんであの人は手ないん？」と、みんなに聞こえる声で言ったので、俺は一瞬ドキっとして、女性と親子から思わず目をそらした。が、母親らしき女性は慌てることなく、女の子に向かって言った。

母親「いろんな人がいるの。みんなが同じじゃないの。」

〇〇ちゃんにはおじいちゃんとおばあちゃんがないでしょう？」

女の子「うん、みんなはおるけど私はおじいちゃんとかおらへんねん」

母親「うん、いろんな人がおるけど、おじいちゃんやおばあちゃんがないのは、〇〇ちゃんのせいじゃないでしょ？」

女の子「うん、違う。あ、△△ちゃんとはお父さんおらへんねんで」

母親「そうね、でも、それは△△ちゃんのせいじゃないよね」

女の子「うん、違う！」

母親「だからね、みんなおんなじじゃないの。みんなそれぞれ、持ってるものと、持っていないものがあるんよ。でもね、持っていないからって、その人は何も悪くないし、他の人と何も違わないんよ」



定期的な復習をした場合の記憶率を記入したものです。「人間は忘れる動物である！」という事は事実ですが、「定期的に復習をすれば、その記憶は確実に定着していく！」ということです。そこで、効率的な復習のタイミングは、

- 1、覚えた直後に、復習する。(数分間でもOK)
- 2、1日後に、再度復習する。
- 3、1週間後に復習する。
- 4、2週間後に復習する。
- 5、1ヵ月後に復習する。(多くの人は、覚えた直後の復習をしていない)

つまり、完全に忘れないうちに、そして、簡単に記憶がよみがえるうちに、ササッと短時間で復習することが、効率的な記憶法になります。

「生きてるだけで人生丸儲け」、明石やさんま

「生きてるだけで まるもうけ」なので 「いまる」

実母はさんまが三歳のときに病死している。さんまが小学校高学年の時に父が再婚、さんまには年の離れた弟(故人)ができた。さんま「中学生くらいの頃は娯楽といえば、三枝(文枝)のラジオ『ヤングタウン』でね。二段ベッドでいつも二人で聞いてたんです。新しい母には遠慮もしたし、やっぱり反発もあった。その母が昔、隣の部屋で酒を飲みながら、『うちの子はこの子(弟)だけや……』って言うのが壁伝いに聞こえてきたんですよ。二人でよう二段ベッドで泣きましたわ…。」母はずっとさんまを完全無視してて、まるでさんまがそこにいないかのように弟にばかり話しかける。さんまはそれでも継母と仲良くしてもらおう、反応してもらおうと毎日毎日必死で面白いことを考える。そのウチ学校でもそのノリで暮らすようになって一躍人気者、お笑いの道へ…。さんまの弟(当時19歳)は火事が原因で亡くなっている。当時弟は高校生。さんまは冠番組を持つほど人気があった。さんま「ぼくのことを、昔から、すごく尊敬してくれるやつでね。ぼくがいうことは、すべて正しいと思っていたみたいですよ。自分にも、それから他人にも、素直に自分をさらけだせるやつでしたね。ぼくもサッカーやったけど、チビのほうですごいんですよ。サッカー部のキャプテンで、インターハイにも出だし、国体選手にも選ばれたしねえ……。去年の10月、大阪のぼくのマンションに遊びにきたとき、今度のワールド・カップをふたりで一緒に見に行こう。キップはぼくが買ってくからって、約束しとったのに…。まだ納得できません、あのチビが死んだなんて……。…………日本航空123便墜落事故でさんまは死んでいた?!日本航空JAL123便墜落事故とは、1985年8月12日に起きた単独機としては世界最悪の犠牲者数を出した航空機墜落事故である。その数は520名に及ぶ。さんまは当日、東京のフジテレビで「オレたちひょうきん族」の収録後、当便で大阪へ移動し、毎日放送「ヤングタウン」に出演予定であった。だが、たまたま「ひょうきん」の収録が予定よりも早く終わったために、123便をキャンセルし、ひとつ前のANA35便と推測される便で大阪に向かい難を逃れた。さんまは、事故当日の生放送のラジオレギュラー番組では言葉を失うほどのショックを受け、番組をこの事故の報道特番に切り替えた。さんまはこの事故をきっかけに、新幹線で行ける範疇の場所(東京～大阪の往復など)へは飛行機ではなく新幹線を利用するようになる。『生きてるだけで丸もうけ』母と弟の死、そして自分自身も日航空機事故で死にかけての経験から生まれた言葉。さんまにとっては実は『重い言葉』なのである…。

学校カウンセラーの予定(11月)

岸田カウンセラー 10日(金) 17日(金) 24日(金)

川端カウンセラー 14日(火) 21日(火)

2017 読書週間(10月27日(金)～11月9日(木) 標語「本に恋する季節です!」